

■社会福祉学部ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

▼目指す人材像

岩手県立大学の学士課程では、幅広い教養と国際感覚を備え、知識を柔軟かつ創造的に活用して主体的に行動できる人間を育成します。県立大学の強みを生かし、地域と連携した実践的教育を通して、産業経済、福祉医療、地域政策等の分野において専門知識を活用して課題解決に取り組み、豊かで活力ある社会の形成に貢献できる人材を輩出することを目指します。

社会福祉学部では、本学の建学の理念、教育の特色、教育研究上の目的を踏まえ、人間の尊厳と社会的正義を尊重する倫理観をもち、幅広い教養と社会福祉学の素養をもとに、高度化・多様化した福祉的課題の発見と解決に主体的に取り組む人材の養成を図ります。

そして、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ、単位を修得した学生を、次に掲げる「学生が卒業までに身につけるべき能力」を備えた者として、学位「学士（社会福祉学）」を授与します。

▼学生が卒業までに身につけるべき能力

- DP1: 幅広い教養を基盤に、社会福祉学への理解を深めることができる。（幅広い教養、専門知識）
- DP2: 自らの考えを的確に表現する技能を身につけ、他者と論理的に議論することができる。（コミュニケーション能力）
- DP3: 社会福祉の実践を通して、多様な立場の人びとを尊重した支援ができる。（コミュニケーション能力）
- DP4: 学修した知識と実社会の事象を有機的に関連づけることができる。（専門知識、社会への関心）
- DP5: 社会福祉学科では、個人に対する直接的援助、個人を取り巻くコミュニティ、それらの背景にある制度・政策の3つのアプローチを統合して、福祉的課題の発見と解決に取り組むことができる。（課題発見・解決能力）
- DP6: 人間福祉学科では、発達科学や心理学、人間工学から対人援助のアプローチを活かして、福祉的課題の発見と解決に応用的に取り組むことができる。（課題発見・解決能力）